

第21回

# 奥村記念館コンサート

*the 21st Okumura Commemorative Museum Concert*

後援：奈良県

## 曲 目

- ◆ ベートーベン : 弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 作品18-5
- ◆ モーツァルト : 弦楽四重奏曲 第18番 イ長調 Kv.464
- ◆ ドヴォルザーク : 弦楽四重奏のための「糸杉」より抜粋

## 演 奏

1stヴァイオリン：鈴木 裕 (岐阜名鉄タクシー株式会社、名古屋鉄道株式会社から出向)  
2ndヴァイオリン：原 文人 (近鉄技術ホールディングス株式会社、近畿日本鉄道株式会社から出向)  
ヴィオラ：大橋 康廣 (フリーランサー、元東急建設株式会社)  
チェロ：内藤 博行 (近鉄不動産株式会社)

### 演奏者：アンサンブルシヴィルプロフィール

アンサンブルシヴィルは土木技術者14名からなる弦楽合奏団です。

1994年の土木学会創立80周年記念式典で演奏するにあたり、学会員の公募により1993年12月に結成され、以来25年間、土木学会ほか土木関係の行事を中心に演奏活動を行っています。

1995年には英国土木学会ICEに招致されロンドン公演を実現したほか、2007年10月には韓国土木学会KSCEから招致され、本日演奏する首席奏者によるカルテットが韓国土木学会全国大会に参加し同学会の合唱団であるシヴィル・ハーモニーと共演、また、昨年10月にはミャンマーとの技術交流のジョイントセミナーで演奏するなど、音楽を通じた海外の土木技術者との交流も積極的に行っています。また、2009年に沖縄と山梨県北杜市、2010年に湯布院と福岡市、2014年には愛知県の日間賀島、篠島と各地で自主公演を行い、2010年2月には「みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル2010」で演奏するなど一般市民との交流も行っています。

メンバーは全国各地に散らばっており、職場も違います。普段は地元のオーケストラや弦楽合奏団に所属して演奏活動をしており、メンバーが揃って練習するのは、年に2回の合宿と、演奏会本番当日だけです。しかし、メンバーは土木技術者という共通の糸で結ばれており、いざ演奏となればコンサートマスターを中心にすぐにまとめることができます。土木とアンサンブルとは一見似ても似つかないよう見えますが、構成員みんなが自分に課せられた役割を認識し力を合わせることによって、はじめて良い物を作り上げることができる点で、共通点が多いと思っています。



2018年 **11月23日** (祝・金) 14:30 開演

入場無料



### 奥村記念館

株式会社奥村組の創業100周年を記念して2007年4月にオープンしました。観光客の皆様や地元の皆様にくつろいでいただくとともに、免震関係の技術と奥村組の歴史を展示しています。

開館から11年になりますが、ご来館いただいた方は210万人を突破いたしました。

住所 奈良市春日野町4番地 TEL 0742-26-5112

